

参考文献

- 越智輝雄・益本仁雄（1985）原色日本甲虫図鑑（Ⅱ），保育社。
大和昆虫愛好会（1966）大和の昆虫3.4 糞虫特集号。
高橋 匡（1981）但馬地方昆虫目録（予報第6報），IRATSUME 5:59-67。
谷角素彦（1982）但馬地方のフン虫 1981年の記録から，IRATSUME 6:30-35。

円山川河原で オオフタホシマゲソコガネに再会

上田尚志

かつて円山川の河原には牛が放牧されており，いたるところに牛糞が落ちていた。筆者が高校生の頃，円山大橋付近の河原で糞虫採集をした記憶がある。当時の野帳を探し出してみると，「1969.10.5，円山大橋付近，オオフタホシマゲソコガネ・カドマルエンマコガネ」と記録がある。このときの標本は，豊岡高校の火災で焼失してしまっている。

ところで，高橋（1981）のリストにはオオフタホシマゲソコガネ *Aphodius elegans* はなく，その後，谷角（1982）によって関宮町葛畑の記録が報告されている。筆者は，牛糞さえあれば円山川の河原のどこかで，このオオフタホシマゲソコガネが生きのびているのではないかと考えていた。

豊岡市土淵の河原に2～3頭の牛が繋がれており，かねてから注目していたところ，10月初旬に多数の本種成虫を確認することができた。20年ぶりに再会できたので，報告しておきたい。

10exs.（確認多数）．1988-X-10，兵庫県豊岡市土淵

参考文献

- 高橋 匡（1981）但馬地方昆虫目録（予報第6報），IRATSUME 5:59-67。
谷角素彦（1982）但馬地方のフン虫 1981年の記録から，IRATSUME 6:30-35。